

全国協議会 ニュース

2015年3月1日発行
第273号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒101-0031 東京都
千代田区東神田1-3-4
KTビル3階
TEL.(03)5823-6360
FAX.(03)5823-6365
発行責任者:野村正満
http://www.marow.or.jp/
E-Mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

25周年記念の日本縦断キャラバン

4月24日に那覇スタート 各地の血液センター訪問

全国骨髄バンク推進連絡協議会の「設立25周年記念事業」の一環である「日本縦断キャラバン」は、全体企画がほぼ固まりました。4月24日(金)に那覇市で出発式を行って沖縄県内を一巡し、那覇港から28日に鹿児島港に着いてからいよいよ列島縦断が始まります。ほぼ真ん中の5月31日(日)には、記念大会の会場となる東京・早稲田大学国際会議場横で展示され、引き続き北上しながら6月23日(火)には北海道に上陸して、28日(日)の完走式に臨みます。

ノアのハイブリッド

今回のキャラバンでは、トヨタ自動車株式会社の協賛をちょうだいしており、同社のノア(NOA)ハイブリッド車Ⅱ写真Ⅱが全国を巡ります。

同車に、日本骨髄バンクで骨髄液を提供したドナーが、ドライバーか同乗者となって乗車することが原則で、各地のボランティア団体に協力を呼び掛けているところ。加盟団体に限



らず、骨髄バンク関係の事業を展開している団体からも協力の

申し出を受けています。前回(1999年の全国キャラバン)は2台のキャラバンカーが北海道と沖縄を出発し、割合とゆつたり走ってから東京の大会会場で「対面」しましたが、今回は1台です。各都道府県に立ち寄るのは予備日を除いて1〜2日のところが多くなっています。

運行日程案に従って説明しましょう。例として5月9日と10日を見てください。前日の8日

月/日	曜	各地団体イベント日	宿泊地(車)	月/日	曜	各地団体イベント日	宿泊地(車)
4月24日	金	沖繩	沖繩	5月27日	水	(愛知)	静岡
4月25日	土	(沖繩)	沖繩	5月28日	木	静岡	神奈川
4月26日	日	(沖繩)	船中	5月29日	金	神奈川	東京
4月27日	月	鹿児島	鹿児島	5月30日	土	東京	東京
4月28日	火	(鹿児島)	鹿児島	5月31日	日	東京	東京
4月29日	水祝	(鹿児島)	鹿児島	6月1日	月	千葉	千葉
4月30日	木	宮崎	宮崎	6月2日	火	千葉	茨城
5月1日	金	(宮崎)	大分	6月3日	水	茨城	栃木
5月2日	土	大分	熊本	6月4日	木	栃木	群馬
5月3日	日	熊本	長崎	6月5日	金	群馬	埼玉
5月4日	月祝	長崎	佐賀	6月6日	土	埼玉	埼玉
5月5日	火祝	佐賀	福岡	6月7日	日	(埼玉)	山梨
5月6日	水祝	福岡	福岡	6月8日	月	山梨	長野
5月7日	木	(福岡)	山口	6月9日	火	長野	岐阜
5月8日	金	山口	鳥根	6月10日	水	岐阜	岐阜
5月9日	土	鳥根	広島	6月11日	木	(岐阜)	福井
5月10日	日	広島	愛媛	6月12日	金	福井	石川
5月11日	月	愛媛	高知	6月13日	土	石川	富山
5月12日	火	高知	徳島	6月14日	日	富山	新潟
5月13日	水	徳島	徳島	6月15日	月	新潟	福島
5月14日	木	(徳島)	香川	6月16日	火	福島	福島
5月15日	金	香川	岡山	6月17日	水	(福島)	山形
5月16日	土	岡山	鳥取	6月18日	木	山形	宮城
5月17日	日	鳥取	兵庫	6月19日	金	宮城	岩手
5月18日	月	兵庫	兵庫	6月20日	土	岩手	秋田
5月19日	火	(兵庫)	京都	6月21日	日	秋田	秋田
5月20日	水	京都	大阪	6月22日	月	(秋田)	青森
5月21日	木	大阪	和歌山	6月23日	火	青森	北海道
5月22日	金	和歌山	奈良	6月24日	水	函館	北海道
5月23日	土	奈良	滋賀	6月25日	木	予備日	北海道
5月24日	日	滋賀	三重	6月26日	金	予備日	北海道
5月25日	月	三重	愛知	6月27日	土	予備日	北海道
5月26日	火	愛知	愛知	6月28日	日	札幌	北海道

※イベント日の()表示は予備日

判型変更

次号からA4判に

「全国協議会ニュース」は、協議会が全国13のボランティア団体によって設立された1990年6月の翌7月に創刊号を発行しましたが、第9号(92年11月)から月刊となって現在に連なっています。判型も第7号まではB4判でしたが、第8号から一貫してA3判新聞形式(縦組み)です。加盟団体の会報など、社会の印刷物はA4判が主流となっていますが、協議会ニュースの判型についても「変更しては?」それに事業の性格上、英文を利用することも多いため横組みにしたほうが読みやすい」といった提案がなされてきました。そこで、25周年を迎えるのを機に、第274号(4月1日発行号)からA4判横組みとなります。多くの加盟団体が採用しているように、A3判の紙を二つ折りにするもので、基本は4ページです。

日赤が全面的に支援

イベントとは何か? その企画は、キャラバンカーを受け入れる各地団体にお任せしていますが、今回のキャラバンでの大原則は「血液センターを訪問すること」にあります。献血併行型登録会やドナー登録呼びかけなど、ある程度は限られるかもしれませんが、昨年1月の法施行に伴い、日本赤十字社は「支援機関」と位置づけられましたから、大いに変化しつつあります。記念事業の実行委員会に職員が参加していることにも如実にあらわれています。事業全体では「協力」ですが、キャラバンについては「共催」となっていることでも明らかです。

ステッカーを自由に

前回はキャラバンカーが2台でしたから、それぞれの走行距離は9000キロ前後でした。出発前のラッピング(協議会名やロゴなど)はさほどでもありませんでしたが、東京に着くころには各地のボランティアが貼ったステッカーやワッペン

自己末梢血幹細胞採取で死亡事故

患者さん自身による末梢血造骨幹細胞移植採取時に死亡事故が発生していたことが、このほど明らかとなりました。事故は1年半前の2013年8月に北里大病院(相模原市南区)で起きていたことが、病院と遺族との間で示談が成立した(病院発表)ことから公表に至ったとされています。最近になって日本骨髄バンクにも報告がなされ、日本造血細胞移植学会は2月16日に見解を発表しました。北里大病院の報告書によりますと、血液疾患の60代の患者



埼玉県がドナー助成制度導入

骨髄バンクで骨髄液を提供する際の「ドナー助成制度」について、埼玉県は早くから取り組みを進めてきましたが、今年に入って吉川市と毛呂山町が加わったことで、同県の全市町村(40市22町1村)が出そろいます。日本骨髄バンクのまとめでは、埼玉県を含む全国の助成制度導入自治体は1月末現在で96になります。

再開への期待ふくらむ プルデンシヤル生命から寄付

2月26日(木)、プルデンシヤル生命保険株式会社本社で、今回10回目となる箱根駅伝での骨髄バンク普及啓発活動に対する寄付金贈呈式が開かれ、執行

自己末梢血幹細胞採取で死亡事故

患者さん自身による末梢血造骨幹細胞移植採取時に死亡事故が発生していたことが、このほど明らかとなりました。事故は1年半前の2013年8月に北里大病院(相模原市南区)で起きていたことが、病院と遺族との間で示談が成立した(病院発表)ことから公表に至ったとされています。最近になって日本骨髄バンクにも報告がなされ、日本造血細胞移植学会は2月16日に見解を発表しました。北里大病院の報告書によりますと、血液疾患の60代の患者

さんが末梢血幹細胞の採取から3時間20分後に呼吸困難を訴え、右頸部の腫脹が大きくなり、気道を圧迫していることがわかったそうです。複数の医師が対応したものの、急速に気道が閉塞し、呼吸停止・心停止となり、いったんは蘇生できたものの、低酸素脳症となつてしまひ、11日目に多臓器不全のため亡くなりました。原因については病院は①頸部静脈にカテーテルを挿入する際、誤って動脈に2回刺した②ヘパリン(抗凝固剤)を通常量より

相当多く使用した——ためと説明されています。末梢血幹細胞採取は、全身麻酔を必要とする骨髄採取に替わる造血幹細胞採取法で、欧米では骨髄採取を上回る実績となつており、日本骨髄バンクでも2010年に導入して以来、最近徐々に増加傾向(2015年1月末現在93例)を示しています。日本骨髄バンクでは、末梢血幹細胞の採取は原則として「腕から」としており、まれに鼠径部から採取することはあっても、この事故のような頸部からの採取はマニュアルによって禁じています。また、ヘパリンは使わず「結んで」います。

ブロックセミナー

関東・甲信越

関東・甲信越ブロックセミナーが2月22日(日)、横浜の神奈川県総合医療会館で開催されました。新潟、東京、埼玉、千葉、神奈川の加盟団体の皆さんと全国協議会の理事・事務局を合わせて15人が参加しました。

最初に開催が迫っている全国協議会25周年事業について、事務局から説明があり、日本縦断キャラバン、およびその実況中継をするブログに関して、また医療講演会・相談会や国際シンポジウムの海外からのゲストなどに関して、活発な質疑応答・議論が行われました。その後、休憩を入れて、各地の加盟団体の活動報告が発表されて、こちらでも熱心な意見交換・討議がなされました。



中・四国

中四国ブロックセミナーは2月11日(祝)、岡山市で開催しました。当日は日本骨髄バンクの説明員の研修会があり、中四国地区から研修に参加されたメンバーを中心に研修会後、帰りの電車の時間の関係で参加が難しい方は個別に、時間のある方は場所をカラオケボックスに移動して変則的なミーティングを行いました。

延べ参加人数は6団体19人。

主な内容は全国協議会25周年イベントの一環として開催される日本縦断キャラバンの趣旨説明と各地のボランティアの協力要請です。中四国ブロックは全国協議会に加盟していない団体も多く活動されていますが、多くの参加者から活発な質問が飛び交い、カラオケボックスでも誰もが歌を歌わず、アルコールも飲まずに1時間半の濃密な時間を過ごしました。

結果、全員に日本縦断キャラバンの趣旨に賛同いただき、ご協力がいただけることとなりました。これからまだ細かな調整が必要ですが、25周年のキャラバンカーは5月のゴールデンウィーク明けからボランティア、ドナー、患者さんの夢と希望を乗せて中・四国路を駆け抜けます。

近畿

近畿ブロックセミナーは2月21日(土)、日本骨髄バンク近畿地区説明員研修後、日赤大阪の会議室をお借りして開催しました。加盟団体・未加盟団体から15人が参加、協議会から山下監事・森脇・山村理事が出席。各地から活動報告をしていたら、全国協議会の25周年事業の説明を行いました。皆さんの関心は日本縦断キャラバンで、前回と比較して説明しました。大阪地区(関西協会)から、とても有意義なご提案があり、是非とも実施したいと考えています。その内容はお楽しみに。

東海・北陸

東海・北陸ブロックセミナーは2月21日(土)、三重県津市のみえ市民活動ボランティアセンターで開催されました。全国協議会加盟団体のみならず、未加盟団体や行政にも参加を働きかけた結果、富山県庁、鈴鹿保健所、日本赤十字社の職員、愛知の会、岐阜の会、三重の勇気の会、静岡骨髄バンクを推進する会から24人が参加しました。



最初に、造血幹細胞移植推進法施行後の登録状況について、東海北陸ブロック血液センター事

各地のよりの宮城

春ちゃんは元気です
プロのナレーターで
全国初の読み聞かせ

第4回骨髄バンクいのちの輝き展がイオンモール盛岡南で2月7日(土)〜2月15日(日)に開催されました。今回は絵本「春ちゃんは元気です」の全ページを石巻に次いで2回目となる展示が行われました。

2月8日(日)には関連イベントとして「春ちゃんは元気です」全ページを大型スクリーンに映し、プロのナレーターの露木優子さんが朗読、作者の松田のおおさんがパソコンを担当。全国で初めての読み聞かせを行いました。最後まで熱心に見てくれた子どもさんや足を止めて聞いてくれた人々、多くの皆さんを魅了しました。

この賢かな企画に参加してくれた露木さんはさすがでした。終わった後、ある若いご夫婦が登録をしたいと申し出てくれたり、骨髄バンクについて知りたいたい資料を持って行ってください、盛岡ではどこで骨髄バンク

業部登録管理課長さんから報告をいただき、続いて全国協議会の活動状況と25周年記念事業について報告を行い、特に5月31日の記念大会への参加とドナーがつながる骨髄バンク・日本縦断キャラバンについて協力要請を行いました。キャラバンについては、東海北陸ブロックでは、全国協議会の加盟、未加盟を問わずそれぞれの県のボランティアでつないでいただくことが確認されました。

各地の活動報告と意見交換会は活発に行われ、富山県の職員さんからは今後、何とかしてゆかねばという思いをお聞きするなど有意義な会となりました。

各地のたよりを写真添えてお寄せください。

登録できるのかと聞いてくる人、反響がすごかったことに感謝すると同時にこの企画がイオンモール盛岡南から全国に広がればと思っています。

若手実業家のご厚志
患者さんに福を呼ぶ
総願時の豆まき参加

2月3日(火)、快晴となったこの日、埼玉県加須市にある中野区立中野中学校(矢口仁校長)の2年生が毎年、社会貢献活動調査を実施しています。今年も2月3日(火)に3人の男子生徒が協議会事務局を訪れました。骨髄バンクやさい帯血バンク、さらに全国協議会の活動内容を説明しました。福本卓也さん(写真中央)から感想が送られてきましたので紹介します。



神戸で骨髄バンクイベント
ご当地アイドル登場や
絵本の朗読とトークも

「第29回日本医学会総会2015関西」が3月28日〜4月5日、神戸国際会議場(神戸市中央区港島中町)で繰り広げられますが、日本骨髄バンク主催のイベントが3月28日(土)午後2〜4時に同会議場メインホールで開催となります。

次のようなプログラムが予定されています。

恒例の事務局訪問で「善意と信頼」感じる

中野中学の2年生3人

恒例の事務局訪問で「善意と信頼」感じる

中野区立中野中学校(矢口仁校長)の2年生が毎年、社会貢献活動調査を実施しています。今年も2月3日(火)に3人の男子生徒が協議会事務局を訪れました。骨髄バンクやさい帯血バンク、さらに全国協議会の活動内容を説明しました。福本卓也さん(写真中央)から感想が送られてきましたので紹介します。

私はナース姿、伴走者は医者に扮し、骨髄バンクのたすきを掛けて走りました。治道から「骨髄バンクがんばれー」の声を援受けました。骨髄バンクのたすきをかけて走っている方が、ほかに何人かいらつしやつたそうです。

東京の会の宮城順です。9歳で骨髄移植をして今年で四半世紀、私は元気に生きています！そんなメッセージを込めて、今年のスーパーマンのコスプレをしながら東京マラソンを駆け抜けてきました。

規定の10キロを完走

早川さんと宮城さん

恒例の東京マラソン

しかし、私は今日皆さんの声援を浴びながら、誰よりも笑顔で東京マラソンを楽しんでました。病気をしなかつた人生だったら、おそらく今日と同じ日は味わえなかつたと思います。骨髄移植でこんなに元気になれるチャンスがあることを、一人でも多くの人に知ってもらいたい、病気を克服した患者が適応しやすい社会をつくってもらうために、これからも訴えかけながら全国を走り続けたいと思います。

心からのご寄付に感謝申し上げます

1月21日〜2月20日 (敬称略)

株式会社ストレートシックス	現金	69,000円	
移住者フットボールクラブ11月大会	現金	43,000円	
塩谷 泰人	現金	1,000円	
村上 忠雄	現金	5,000円	
藤波 敬子	現金	10,000円	
匿名	現金	5,000円	
●白血病患者支援基金			
イオン九州株式会社	イオン都城店	現金	5,397円
株式会社クスリのアオキ	現金	1,100,415円	
ビッグドラゴン	現金	9,870円	
コスモ石油労働組合	現金	6,000円	
中山 雅雄	現金	1,500円	
●佐藤きち子患者支援基金			
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	現金	7,081円	
匿名	現金	5,000円	
匿名	現金	2,000円	
●志村大輔患者支援基金			
ひつじ基金	現金	10,000円	

【おわび】第272号の本欄で「イオン九州株式会社 イオン都城店」様の寄付金額が掲載漏れでした。おわび申し上げますとともに今号に改めて掲載させていただきます。

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会